

天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

校長 山中 喜宏

行事の多かった5月も早いもので下旬となり、1学期も半分以上経ちました。行事が終わるごとに、クラスにも慣れ、なかまとのコミュニケーションも取れるようになってきたのではないのでしょうか。

6月2日(火)に体育祭が実施予定です。メンバー決め等の準備を進めているところです。

朝夕は過ごしやすいものの、日中の気温がとて高くなってきており、30℃を超える真夏日も出てきました。暑さに早く慣れ、熱中症に注意するなど、体調管理をしっかりといきましょう。



中間テストが実施されました

5月21日(木)・22日(金)の両日、中間テストを実施しました。1年生は中学生になり、はじめての定期テストでした。

みなさん、いい結果を残したいと思っていますが、何も行動せずに結果だけを求めても、結果はついてきません。学習に関していえば、毎日実施される授業と授業を受ける前の家庭学習(予習)、授業後の家庭学習(復習)がとても大切です。

日ごろの学習に関しては、『家庭学習の手引き』(次の URL から DL 可)をよく読み、参考にしながら、家庭学習に取り組んでください【 <https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhtenei/syllabus/> 】。家庭学習を習慣化することで、学習内容を身に付けるとともに、帰宅後の生活リズムが整い、規則正しい生活が送れるようになると思います。

学習に取り組むにあたり、自分を見つめ直す機会をつくり、自分は何ができて、何ができないのかを具体的に知ったうえで、一つ一ついねいに解決していくことが大切です。自分なりの工夫をして、行動につなげていけるといいですね。また、特別なことをする、新しいことに手を出すのではなく、「教科書を音読する。」「学校で購入したワーク(問題集)を繰り返し解く」、「端末を活用してミライシードのドリルパークで繰り返し問題を解く」など、身近にあるものをいねいに活用して行ってほしいと思います。

「わからないから何もしない」「めんどくさいからやらない」など、言い訳を探して「何もしない」ことは避けてほしいです。やったらやっただけの成果は必ず出るので。

そして、みなさんに一番やってほしいことは、もっと各教科の先生方に質問をしてほしいということです。

先生方は、教科の学習に関して、みなさんに質問されたら「わかってほしい」という気持ちで教えてくれます。「わからないことがわからない」という人もいるかもしれませんが、先生方は粘り強く教えてくれると思います。

みなさんに心がけてほしいのは、できる限り自分のわからないことを具体的なことばで説明してほしいということです。それが、理解への近道となります。『天中だより 第4号』でも書きましたが、自分のわからないことが整理できていれば、今は分からなくとも、身に付いていくのも早いと思います。

どんなことにも通じることですが、日常の一つ一つの行為に関して、真摯に向き合い、コツコツと行動を積み重ねていくことがとても大切だと思っています。

期末テスト実施まで、1か月切っています。「今から、ここから」準備を始めてください。



安全運転を心がけましょう

通学で使っている自転車は、道路交通法では、車両に分類されます。つまり、自転車も自動車と同類と扱われます。したがって、道路を通行する場合には、道路交通法に基づいて車両として安全に運転する必要があります。

朝の見守りをされていて、みなさんの通学時の次のような様子を見ていると、危険を感じます。

- 交差点の信号を気にして、スピードを出して渡ろうとする。
- ヘルメットのおごひもが調整されておらず、ゆるい。
- 追い越しの際に後方確認が十分でなく、車が迫っているのに追い越そうと、車道の真ん中くらいまで膨らみ、後続の車から追突されそうになる。
- 歩道いっぱいになって並列でしゃべりながら運転している。
- 前方を見ずに、後方の友だちと後ろを向いてしゃべりながら運転している。
- 一旦停止を怠り、車と接触しそうになる。



「自分の身は自分で守る」ことを意識して、安全運転に努めましょう。

学校でも指導をさせていただいてはいますが、保護者のみなさまにおかれましては、お家でヘルメットのおごひもの調整やサドルの調整、ブレーキの利き具合の確認など、自転車の調整、整備をお子様と一緒に確認していただくとともに、安全運転を心がけるようお声がけいただけると幸いです。また、地域の方々におかれましては、危険な運転を見かけたら、その場で、(生徒に)お声がけいただけると幸いです。

学校運営協議会を開催しました

5月22日(金)に第1回学校運営協議会を開催しました。

鈴鹿市では、すべての公立小中学校がコミュニティ・スクール(略称:CS)に指定され、地域に開かれた特色ある学校づくりをすすめています。

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の方々など10人程度の委員によって構成される学校運営協議会が設置されている学校のことです。学校運営協議会では「どのような学校を創っていくのか。」「どのような子どもを育てていくのか。」といったことなど、様々な教育課題について、学校・保護者・地域がそれぞれの立場で共に考え、知恵を出し合いながら熟議し、地域ぐるみで学校づくりに取り組んでいます。

この日は、今年度初めての会であったことから、学校から令和8年度が始まって1か月経った学校や生徒の様子等の報告や令和8年度学校経営の改革方針の説明と質疑と熟議を行いました。その後、改革方針を承認していただきました。

体育祭に向けて

天栄中学校の体育祭では、例年、クラス対抗全員リレーを行っています。

30人以上いるクラスの中には、走ることが得意な生徒もいれば、不得意な生徒もいます。

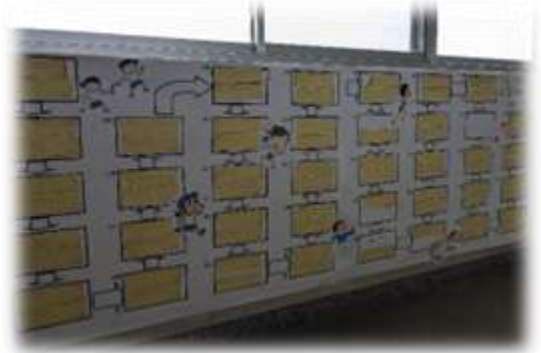
そんなクラス全員がバトンをつなぐリレー競技では、不得意な生徒にとっては、つらいことかもしれません。しかしながら、天栄中では、ただ1位になることだけを目指すのではなく、クラスの中でバトンを渡す生徒、そして渡される生徒のお互いが、どのような想いで走り、次の走者にどんな想い



を持ってバトンをつないでいくのかをみんなが知ったうえで走り、クラスのなかま全員の想いをつなぐリレーとしていくことを大切にしています。

そのため、事前に「バトンを渡す生徒」から「バトンを受け取る生徒」へお互いにメッセージを伝えあう「リレーメッセージ」の取り組みを行っています。

勝った、負けただけを競うのではなく、各クラスのなかま同士が想いを知ったうえで、お互いを称えあい、一つにつながる全員リレーとなることを期待しています。



日常生活の中から

朝や放課後に校舎内をまわっていると、各クラスの担任の先生の中には、次の日の朝、登校してきた生徒へ、想いを込めたメッセージを黒板いっぱい書いている先生もおみえになります。

そのメッセージを読ませていただくと、「なるほど」と納得することや「生徒のことを想ってくれているなあ」と胸が熱くなることもあります。

